

2016年 ピースボート地球大学 特別プログラム【アジア区間】 「人間の安全保障へ 課題の解決策を探る」

2016年8月15日（月）～8月29日（月） [15日間]
東京～基隆（台湾）～シンガポール



ピースボート地球大学とは

ピースボート地球大学は「地球一周の船旅」を活用した短期集中型の英語でのグローバル人材育成プログラムです。訪れる各地域での現場体験と洋上ゼミを組み合わせ、地球規模の問題を自分の問題として考える視点を養い、理解を深めていきます。専門知識を武器に、現場の声を確実に拾いながら、思いやり（empathy）と情熱（passion）をもって地球規模の課題を解決に導ける人材、先の見えない社会を牽引していく未来のリーダーのためのプログラムです。

※「ピースボート地球大学」は、NGO ピースボートがコーディネートする教育プログラムです。学校教育法上で定められた正規の大学ではありません。



プログラム行程

参加者は2016年8月15日（月）に東京にて集合、現地でエキスポージャーを行った後に横浜から第92回ピースボート地球一周の船旅を実施中のオーシャンドリーム号に乗船しました。途中基隆（台湾）に寄港しシンガポールにて下船。1泊2日のエキスポージャーを行い8月29日（月）にプログラムを終え、解散しました。

参加者

5か国から12名

韓国	5名	中国	1名
日本	4名	タイ	1名
スリランカ	1名		

ピースボートがアジアにもつ提携大学（下記参照）およびNGOネットワークから集まりました。

東京外国語大学 「『コンフリクト耐性』を育てる地域研究教育システムの開発と国際職業人教育機能の高度化」プロジェクトの一環として（学内選抜有・2単位）

慶熙大（Kyung Hee University） ヒューマンカレッジ（Humanitas College）の提供する教養プログラムの一環として（学内選抜有）



ナビゲーター

金敬黙 [早稲田大学教授]

平和論、地球市民社会論等を教える。日本国際ボランティアセンター（JVC）およびオックスファム・ジャパン理事。博士（東京大学）

忍足謙朗 [国連食糧計画（WFP）元アジア地域局長]

30年以上にわたり国連に勤務し、人道支援、開発支援の現場で活躍。2009年から2014年、WFPアジア地域局長を務め、アジア14か国の支援の総責任者となる。

ゲスト講師

リンダアン・ブランシャード（シドニー大学教授）

近藤牧子（開発教育協会/DEAR）

高橋和夫（放送大学教授）

深津高子（AMI国際モンテッソーリ協会公認教師）

石川清（ジャーナリスト）、ほか。

コーディネーター

川崎哲（ピースボート）

「地球大学特別プログラム」の特徴 ～ アジアから世界を変える

多様性を知る

地球大学にはアジア太平洋各国から参加者が集まります。バックグラウンドや専門の違う参加者と経験や意見を交わすことで、物事にはいくつもの見方があることを知り、様々な視点を比較・統合していく力を養います。

英語を使う

語学は学びのツールです。英語「を」学ぶのではなく英語「で」学ぶのが地球大学。ディスカッションやプレゼンテーションも行います。各地のアクセントに触れながら、グローバルコミュニケーションの力を鍛えます。

現地に学ぶ（エキスポージャー）

エキスポージャー（現地実習）を通して平和や人権、環境問題を検証し、現地に暮らす人々とともに解決策を考えます。「かわいそう…」から「私が変わる！」に変わる。それが平和な社会を築く当事者への第一歩です。

プログラム内容

エクスポージャープログラム：東京 [2日間]、基隆（台湾） [1日]、シンガポール [1日半]



東京では、山谷で日雇い労働の問題、木下川で部落差別と外国人労働者の問題、そして新宿の夜回りを通してホームレスの問題について、それぞれ当事者や支援者に話を聞きながら考えました。台湾では都市化にともなって移住を余儀なくされた先住民のアミ族が暮らす村を訪れ、彼らが大切にしている採集文化や伝統文化を実体験しながら文化を守っていくということについて議論しました。シンガポールでは移民や持続可能な開発目標（SDGs）に関してどのような国家間・地域間での取り組みが可能かを聞き取りました。

洋上ゼミ・パート I：人間の安全保障を多角的に捉える [洋上ゼミ9コマ]



洋上ゼミではワークショップやシミュレーションなどを交えて「人間の安全保障」の概念について様々な角度から話し合いました。構造的暴力や積極的・消極的平和などの理論的な話のみならず、アジア地域の紛争や貧困の具体的な事例の検証も行いました。学生からは雇用の問題や紛争の問題がどのように人間の安全保障と結びついているかについての発表があった他、原爆被爆者を招いての証言会も行われました。これらを踏まえて、30年後の世界を考えるシナリオワークショップにも取り組みました。

洋上ゼミ・パート II：人間の安全保障を阻むもの [洋上ゼミ10コマ]



災害、紛争、感染症の3つのテーマに焦点をあててさらに学びを深めていきました。学生からは東日本大震災および福島原発事故の他、ネパールの震災についてのプレゼンテーションがあり、具体的な支援の方法についても議論が及びました。紛争についてはスリランカやタイのケースについて学生からの発表があった他、中東・シリアの紛争についてもテロやグローバリゼーションの問題とともに扱いました。感染症については韓国の MERS（コロナウイルス）の事例についての発表をもとに問題の複雑性について考えました。

スキルアップゼミ：アクションへの第一歩 [洋上ゼミ3コマ]



現場での経験が豊富なナビゲーターのファシリテーションのもと、スキルアップゼミでは活動家・実務家として活躍していくために欠かせないコミュニケーションスキルやプレゼンテーションスキルを養うための実践的なトレーニングを行いました。緊急支援の現場を想定した調整（coordination）・交渉（negotiation）ワークショップもこのゼミの一環として行われ、学生は具体的なシナリオをもとに、国際機関、現地政府、NGOなどの役割を与えられ、ロールプレイ形式で利害関係の調整に取り組みました。

ONBOARD CHALLENGE 船内チャレンジ：船内環境の多様性を考える [洋上ゼミ4コマ]



プログラム期間中、学生は3つのグループにわかれ、約1000名が寝食をともにする船という生活環境において、どのような改善を加えればより多様性が尊重されるようになるかという課題の解決に取り組みました。様々なゼミを通して学んだ人間の安全保障に関する概念や具体的な事例を自分たちにとって身近な問題にどう応用するかが試されました。学生はインタビューなどの手法も取り入れながら食事や宗教、プライバシーなどに焦点をあてて提言をまとめ発表しました。

2017年度の開催予定

ピースボートでは2017年8月に3週間程度の地球大学特別プログラムの実施を予定しています。詳しくはお問い合わせください。

問い合わせ先

ピースボート事務局

Tel: 03-3363-7561

Fax: 03-3363-7562

univ@peaceboat.gr.jp

<http://peaceboat.org/projects/univ>